

経営比較分析表（令和元年度決算）

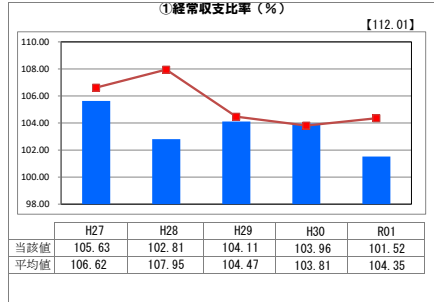
岡山県 奈義町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	73.47	98.00	4,390	

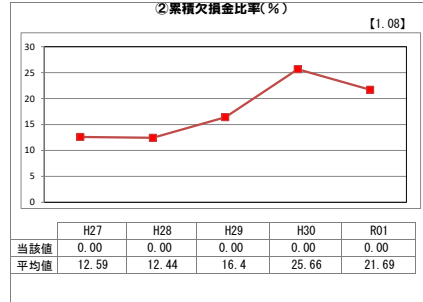
人口(人)	面積(k㎡)	人口密度(人/㎡)
5,851	69.52	84.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(k㎡)	給水人口密度(人/㎡)
5,671	31.00	182.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

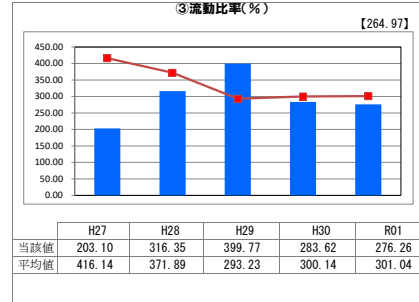
1. 経営の健全性・効率性



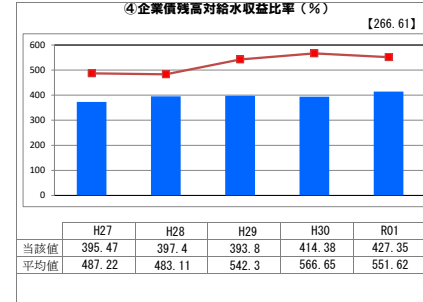
「経常損益」



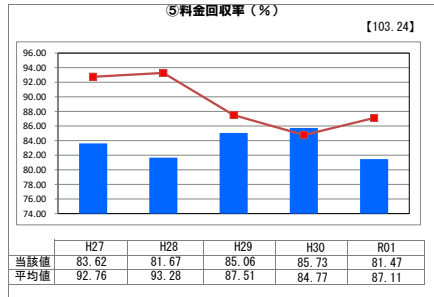
「累積欠損」



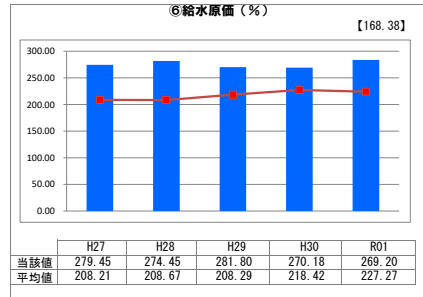
「支払能力」



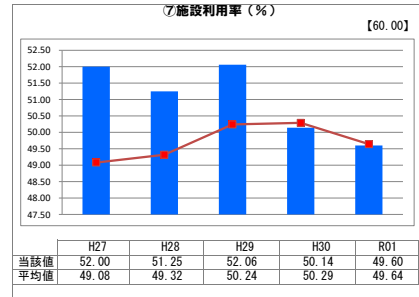
「債務残高」



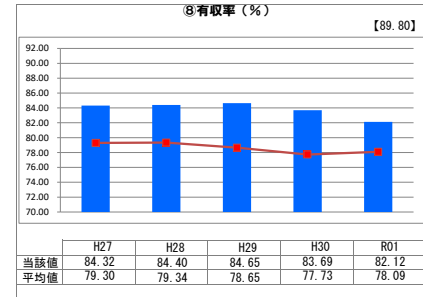
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

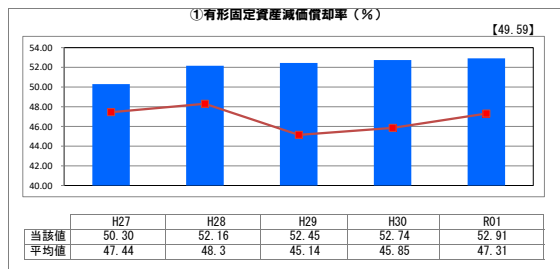


「施設の効率性」

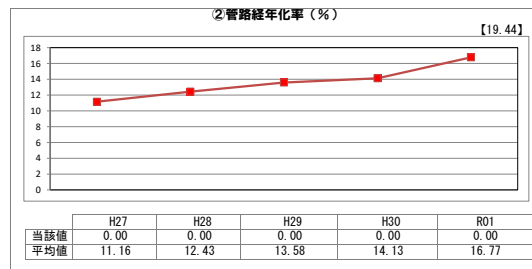


「供給した配水量の効率性」

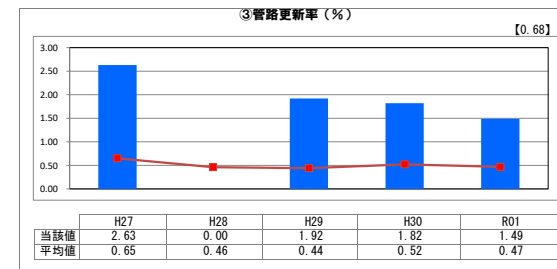
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率
 - ・消費税増徴等により減となっているが、100%を維持している。今後、より経常経費の削減や料金回収率の向上を図るなど改善の余地がある。
 - ・累積欠損金比率
 - 指標は低いが、一般会計からの繰入金によるところが大きい。費用を抑える経営努力を続けていく必要がある。
 - ・流動比率
 - ・収率率を上げる等、安定的な経営持続に努める。
 - ・企業債残高対給水収益比率
 - ・有収率
 - ・給水原価
 - ・今後、財政規模に応じた施設・管路等の更新や、適切な時期に漏水調査を行って有収率の維持をする等、上水道の安定供給に努める。
 - ・料金回収率
 - ・施設利用率
 - ・人口減・節水により低下傾向にあるが、万が一に備え、現状規模の施設は必要となる。給水単価の値上げ等は理解が得られにくいため、必要に応じて適宜施設の修繕等を行い、設備の更新等の急激な経費の増を抑制する。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率
 - 増加傾向にあるものの、施設の修繕や管路の布設替え等、適切な修繕と更新を組み合わせて維持管理していく必要がある。
 - ・管路更新率
 - ・年次計画により、老朽化する管路を順次布設替えを行っている。防衛的補助事業に依り実施している所が大きく、年度比較すると更新率に差異が生じている。

全体概括

料金回収率は低いものの、これ以上の水道料金の値上げは理解が得られにくい状況にある。また、人口減少に伴い経常収益の維持も難しい状況にあるため、経常費用の見直し等、策定している経営戦略を踏まえた改善を図る余地がある。